

◎新入会員卓話 茂木 政雄 会員

1. 平成13年度

A 観光入込客数(実人数)

区分	観光入込客数	内日帰り客	内宿泊客
道外客	622.7万人	3万人	624.4万人
12年度対比	105.3%	104.8%	105.3%
11年度対比	98.8%	99.1%	98.8%
道内客	4,414万人	3,504万人	911.1万人
12年度対比	103.5%	103.3%	104.4%
11年度対比	97.8%	97.9%	97.6%
合計	5,041万人	3,507万人	1,535万人
12年度対比	103.7%	103.3%	104.7%
11年度対比	97.9%	97.9%	98.1%

※景気低迷による個人消費の伸び悩みや夏季の天候不順、米国同時多発テロ事件の影響による旅行の手控えなどマイナス要因があったものの、有珠山噴火の影響も薄れ、積極的なプロモーション活動の効果もあって、前年比で3.7%の増加(有珠山噴火前の前前年度比で2.1%の減少)になりました。

B 季節別(道外客)

区分	春 4・5月	夏 6～9月	秋 10・11月	冬 12～3月	合計
入込数	80万人	344万人	71万人	132万人	627万人
構成比	12.7%	54.9%	11.4%	21.0%	100.0%
12年度対比	113.2%	105.7%	98.0%	104.1%	105.3%
11年度対比	92.7%	99.3%	93.7%	104.9%	98.8%

C 利用交通機関

交通機関	客数	構成比
航空機	520万人	82.9%
フェリー	64万人	10.2%
鉄道	43万人	6.9%

D 季節別(道外客+道内客)

区分	春 4・5月	夏 6～9月	秋 10・11月	冬 12～3月	合計
入込数	734万人	2,629万人	641万人	1,037万人	5,041万人
構成比	14.6%	52.2%	12.7%	20.6%	100.0%
12年度対比	113.5%	103.8%	96.9%	101.6%	103.7%
11年度対比	98.1%	98.0%	95.0%	99.7%	97.9%

※依然とし夏が全体の5割以上を占めているが、冬も確実に増えてきている。秋のみ12年度比で100%を割っているが、これは、9月11日の米国同時多発テロ後の旅行手控えによるものと推測される。

E 圏域別入込客数(延人数)

道	入込客数	12年度対比	増減数	11年度対比	内道外客	内道内客
道南	1,472万人	108.3%	113万人	98.9%	643万人	829万人

※有珠山の影響を受けた道南地域は、道路網の回復、国際チャーター便の増加、イベント時の好天などにより前年度を上回り、噴火前の平成11年度の水増しまでほぼ回復してきております。季節別では、春115.1%、夏108%、秋101.8%、冬107.5%と全ての季節で前年を上回りました。

F 函館市の入込客数(実数)

客数	入込客数	内道外客	内道内客	内日帰り客	内宿泊客	宿泊延客数
前年度対比	108.6%	110.0%	105.7%	108.7%	110.0%	114.1%

※特徴は道内客よりも道外客のほうが多い(約2倍)という事。他地区では、スキーリゾート「丰ロロ」のある赤井川村、同じく「トマム」の占冠村。高速道路の「砂川ハイウェイオアシス」のある砂川市、離島人気の稚内市・札文町・利尻町、そして、大自然と流水が魅力の網走市・斜里町・留辺蕊町など北網走地区の市町村、阿寒国立公園の阿寒町・弟子屈町しかありません。また、日帰り客より宿泊客のほうが多いのも特徴で他には、阿寒湖畔のある阿寒町のみである。このへんに函館観光の今後の取組むべき方向が、隠されているのでは。

2. 平成14年度

A 現在までの状況

数値は出ていないが、昨年度と比べると良くない。4月の異常気象による花見時期のずれ、6月のワールドカップサッカー期間の旅行手控え、夏の天候不順による道内客の動きが鈍かった。等の理由が考えられるが、良かったのはワールドカップの警備に来た警視庁機動隊が10泊以上した定山溪のみという話も聞かえてきている。

B 今後の見通し

9月以降、回復の兆しが多少みえてきた感がある。JRさんがやる北海道キャンペーンの効果、昨年のテロ以降いまだに回復しない海外旅行、ワールドカップ時の旅行手控えの反動などが、理由としてあげられる。しかし、昨年秋季以降の北海道へのシフトの反動、昨年大幅に落ち込んだ沖繩の巻き返し、予断は許さない状況であると思います。(特に函館は)

3. 函館市の今後の課題(進むべき方向)

- A オフ期の対策
- B 道内客の取り込み(交通費に左右されない)
- C 滞在客の獲得(魅力ある観光資源はいっぱいある)
- D 個人型旅行の対応
- E 新幹線の八戸開業(12月)
- 4. 訪日外国人来道者数

(1) 概況

平成13年度の訪日外国人来道者数は、実人数で236,100人、前年度比114.3%と増加しております。このうち、アジア地域からの来道者は202,550人で前年度に比べ22.3%と大幅に増加しておりますが、アジア以外の地域からの来道者は33,550人で前年度に比べ14.1%の減少となっております。